

一般社団法人 埼玉私保連



# 広報

No.138  
H31. 1月  
発行



## もちつき大会 力いっぱい ヨイショ!

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

## 園および園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。  
(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、  
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する  
各種保険を取り扱っております。

ほいくのほけん

「園賠償責任保険」  
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」  
「特別保育事業賠償責任保険」  
など、園経営におけるリスクに関する保険を  
ラインナップしています。また、それらを総合的に  
補償するセットプランもご用意しております。

園児総合保障  
共済制度

園児を24時間補償する共済制度  
(総合生活保険(こども総合補償))です。  
団体契約による割引の適用で割安な掛金で  
補償を確保することができます。

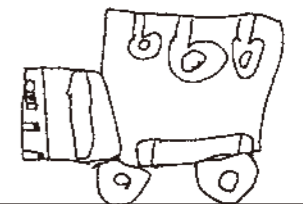
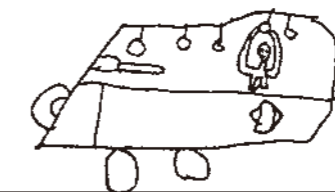
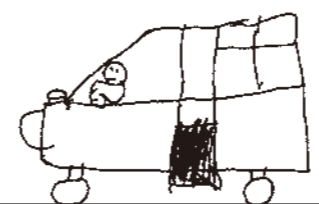
上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。  
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

〈連絡先〉 (公社)全国私立保育園連盟指定  
東京海上日動火災保険株式会社代理店

**有限会社ゼンポ**  
〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内  
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉  
東京海上日動火災保険株式会社  
担当課：公務第二部 文教公務室  
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害  
保健特約付帯傷害保険・総合生活保険(こども総合補償)の概要について  
ご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパフレットをご覧ください。  
詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする  
保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険  
会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要  
事項説明書」をよくお読みください。





… 編集後記 …

みなさんの園でも安全対策に苦慮されておられると思いますが、うちの園にはイノシシが出るんです。その度にパトカーがきたり、近所の人が集まったりと結構たいへんです（10年前には近所に熊もでました。その熊は捕獲されて、現在大宮公園にいます）。

対策といっても園に野球バットや唐辛子スプレーを用意するくらいしかできません。新しい年の干支でもあるし、自然の動物を邪険にもできないし困っております。当面「ジビエ料理店開店予定」「イノシシ鍋始めます」の看板でも掛けてみようかと考えております。（S.K）

お正月は「箱根駅伝」を家族でテレビ観戦するのが年中行事になっています。自分たちは暖かい炬燵にしながら、「やれ頑張れ」だの「やれしっかりしろ」だの勝手なことばかり言って選手には全く気の毒です。賛否ありますが、倒れそうになっても、「たすき」をつなごうとする学生の姿に涙が出てしまいます。駅伝はチーム競技。あの「たすき」をつなぐことに大事な意味があるのです。私たちも先人から受け継いだ保育の「たすき」をしっかり後世につなぐことが使命です。選手のみなさんどうぞそれで炬燵からの勝手なヤジお許し願います。ちなみに私の母校の箱根の成績は、予選会大敗でした…。（S.H）

先日、町のお蕎麦屋さんが長い歴史に幕を下ろし、閉店しました。子どもの頃からよく父親に連れられてその店のお蕎麦を食べるのが何より楽しみでした。学生時代、父に厳しく諭されたのもこの店でしたし、職場変更を父に相談したのもこの店でした。楽しいこともつらいこともすべてこの店にありました。その父親も数年前に亡くなりました。形あるものすべていつかは無くなるものなのですね。さよならお蕎麦屋さん。さよならお父さん。さよなら私の青春時代。（T.M）

12月は子どもたちにとって楽しみな時期です。最大のイベント、クリスマスがあるからです。わたくし思うに子ども時代にクリスマスのサンタクロースを信じるか信じないか、案外そんなことがロマンチストと現実派の分かれ目なのかもしれません。わたくしの場合ですが、当時親に「サンタさんくるかな？」と聞いたら、「うちには入口の煙突がないんだから来るわけないだろ。ばか言ってんじゃないよ」でした。現在わたくしは、生粋の現実派であると自負しております…。（M.K）

事務局 (一社)埼玉県私立保育園連盟  
〒363-0015 桶川市南2-7-13 桶川中央マンション2F  
TEL 048 (772) 8623  
FAX 048 (772) 8635

平成30年度 保育士養成校の皆様と私立保育園長との情報交換会

9月21日(金) 13:30~16:30さいたま市文化センターにおいて、埼玉県保育協議会・さいたま市私立保育園協会・埼玉私保連共催による、保育者養成校と保育園との情報交換会が行われました。今回は「保育実習」についての話題が多く出ましたので、実習関連のご意見を中心にお伝えします。(抜粋して掲載)



に学ぶ姿勢や社会人としての自覚も指導してほしい。記録の取り方は、保育を時系列で記入するだけでなく、子どもたちの

ポイントを押さえてほしい。  
・実習期間中に「助けてほしい」とのメールが教授に来る。初日に0歳児担当は厳しい。  
・1回目の実習は、いろいろなクラスに入ると良い(各年齢が見られるので)。  
・遊びこむ事の大切さを伝えている。それが子ども理解につながる。

〈実習に関して〉

(養成校の先生のご意見)

・先生方の所見が未記入だと、非常に残念に思う。赤ペン指導は宝物として伝えたい。  
・学生にとって日誌を書くことは勉強になるので、指摘事項はあったほうが良い。  
・評価の数字と園長の言葉のニュアンスに温度差がある様な気がする。保育のやり方や進め方が分からなくて困ったという学生が多い。  
・学生の個性を大切にしたい。実習はくじけない様に、意欲的



り方や進め方が分からなくて困ったという学生が多い。  
・学生の個性を大切にしたい。実習はくじけない様に、意欲的

感性を大切にしてほしい。

・学校で変わらなかった学生が、実習で見違えるように変化した。現場の体験は貴重(赤ちゃんと触れ合う経験も普段ない)。  
・いろいろな意味で学生が幼いので、2年間で育てられないまま卒業することになってしまう。「保育って楽しい、ステキ」と感じる事が出来るようご指導いただきたい。学校に帰ってきた際のスピーチでは、現場の雰囲気に関し両極端の意見が出る。  
・卒業生がいる職場には学生も紹介しやすい。就職したあと、卒業生が何年勤めたかデータを記録している。  
・日誌を書く時間はぜひ欲しい。日誌では、どうして直されたか理由も教えてもらえるといい(中には落ち込む子もいるので)。量が多すぎると学生も大変なので、

・学校で変わらなかった学生が、実習で見違えるように変化した。現場の体験は貴重(赤ちゃんと触れ合う経験も普段ない)。  
・いろいろな意味で学生が幼いので、2年間で育てられないまま卒業することになってしまう。「保育って楽しい、ステキ」と感じる事が出来るようご指導いただきたい。学校に帰ってきた際のスピーチでは、現場の雰囲気に関し両極端の意見が出る。  
・卒業生がいる職場には学生も紹介しやすい。就職したあと、卒業生が何年勤めたかデータを記録している。  
・日誌を書く時間はぜひ欲しい。日誌では、どうして直されたか理由も教えてもらえるといい(中には落ち込む子もいるので)。量が多すぎると学生も大変なので、

(実習園の先生のご意見)

・保育実習の記録は残るものなので、所見は必ず書き、誤字脱字、朱入れで記入する等、プレッシャーを感じない様に心掛けている。保育の楽しさを感じられる様な所見を書くようにしている。  
・時系列ばかり書いて考察が書けない学生もいる。実習日誌から次の日のねらいを見つけてもらえると良い。  
・実習のガイドラインを作るべき。勤務時間、評価の仕方、実習生に対する評価のつけ方、日誌の量に各校差がある。指導案をパソコンでや





# 全国私立保育園連盟 保育功労賞 受賞

## 回 光 返 照

ようりん保育園 小林良純  
 高校から家(寺)に帰ると小さな子ども達が「お兄ちゃん、お帰り」と出迎えてくれた。3歳未満児を預かる保育室を母が中心となり2人ほどの保育とで運営していた。その後、二十歳の時、社会福祉法人ようりん保育園が誕生した。  
 ○○大学外国語学部英語学科を卒業後、禅の修行を積み寺に戻った時には父親である先代和尚はすでに亡くなっており、20代の頼りない住職と母の保育の仕事をサポートする副園長が誕生した。まさに勉強することがいっぱいの人々がスタートした。時間があれば園児たちと接した。園庭狭しと飛び回って遊んだ。早番の先生と共に掃除をしながら子どもたちを出迎えた。調理も手伝った。通信教育で資格も取った。

初めて泊りの研修会に蔵前の保育会館に行った。ここで埼玉私保連広報部員(当時は委員だったと思う)にスカウトされ勉強になるだろうと快諾したのは、私の人生におけるナイスジャッジのベスト



2であろう。その後、広報部長、青年部長、事務局長を拝命したが、平成8年全私保連青年会議副会長就任前後の数年は全国の保育仲間との多くの楽しい思い出ができた最高の時間であった。今はナイスジャッジベスト1の人生のパートナーと共に、納得のいく保育を心掛け日々大切に努めています。栄えある賞を頂きありがとうございます。

## 保育功労賞を励みに：

ほしのみや保育園 茂木孝子  
 保育功労賞の推薦をいただいた時、「なぜ、私?」「私は、保育の仕事をしていただいています。と胸を張って言えるのか?」と、自問自答をしたものです。  
 これまで、保育という世界に身を置かせていただき長い間続けて来られたのは、未熟な保育者(私)とともに歩んでくれた子どもたちがいたからであり、いつも励まし温かい眼差しで見守ってくれた保護者や影日向になり多方面から支えてくれた家族・友人がいたからこそ感謝の気持ちが湧いてきて、「一人では何もできなかった。大勢の仲間がいたからこそ困難も乗り越えられた。」そんな思いで胸がいっぱいになりました。そして、保育に関わって来た月日を振り返り、保育士として歩み始めた頃、少しばかりの経験に浮かれ過信していた頃、園長職となった頃、そして現在、どんな時も周囲にはたくさんの仲間がいたことに改めて気付かされました。

授賞式後の交流会の席で、「保育功労賞はね、これから、もっともっと頑張りなさいの意味があるんだ。」とお声をかけてくださった大先輩。ここで私の「?」は消



え去りました。「よし、これまでこれまで、これからへの功労賞なのだ。」と確信したのです。これは大変です。手を抜いたり、怠けたりはできなくなりました。と本気で青くなりました。  
 微力ではありますが、子どもたちのため、保護者の皆様のサポート隊として、社会の一員として、自分のできることをコツコツと積み重ね続けていきたいと思えます。おかげさまで、私の周りにはたくさん仲間がいます。この保育功労賞を励みに、仲間とともに、これからも「保育の道を一筋に」研鑽を積みながら歩いていきたいと思えます。



るのはどうか?簡略化も大事。  
 ・訪問指導の時、マイナス面や不安に思っている事を伝えてもらえる、学校側との指導を合わせられる。また、2週目くらいに来てもらえたほうが、実習生の本当の姿が見えているのではないのか?幼稚園の実習指導の先生の方がはつきりと物を言うから、後々の指導がしやすい時もある。  
 ・実習に来てもらった学生には、なるべくお掃除をしてもらわず、子どもとの関わりを大切にしてもらい、何か喜びを持って帰ってもらっている。

10月29日(月) 午前10時〜11時30分  
 さいたま共済会館505会議室  
 8月に埼玉私保連からの保育関係予算要望書提出を受けて、右記の日時会場での意見交換の場が設けられました。県からは、少子政策課より高島課長をはじめ5名、社会福祉課から1名が出席されました。私保連からは会員31名に加え、3名の県会議員も傍聴参加されました。  
 要望書の回答については、「国に要望していく」「各施設で市町村と話し合いを」等の答えが多く特筆すべき内容はありませんでしたが、県としても実際に国に対し、「地域区分の設定については、介護・障害と同様に保育独自のルールを作るべき」と進言しているなどの話もあり、お互いについて理解を深める良



い機会になりました。  
 昨年、県が「都内や県外に保育士が流れているなどのデータがない」と言っていた件について、調査部長より会員園を対象とした離職データの調査結果を報告しました。そのうえで明らかに都内を中心に保育士が流れているという結果を県担当課にも伝えました。  
 参加園からもアレルギー児の食事面での苦慮、障がいのある子の受け入れ、保育士の人材不足等、現状を踏まえた活発な意見が出され、県職員や参加した議員の方々に現場の声を届ける場となりました。  
 <要望事項について共有しておきたい回答>  
 ・4, 5歳児については国も25対1を検討している。早期に実現するよう国に要望する。  
 ・産休代替職員について、来年度は月額6, 968円から月額7, 184円に改善する方向。  
 ・障害児保育の補助については一般財源なので市町村の規模に

# 県との意見交換会

よって支払われる。国は必ずしも手帳や診断書がなくてよいとしている。市町村によっては「埼玉県の補助金の認定基準に合わせる」というところもあるが、県はあくまで国基準のプラズαで補助金を出しているため診断書や手帳を基準にしているだけ。診断がない子の障害児保育については市町村とぜひ協議を。  
 ・国の処遇改善Ⅱについて、県内での活用が7割と低く、まずはそういった処遇改善の申請をして活用をしていただくことが先決。  
 <参加議員さんからの感想>  
 ・県は財政難を理由にできないというが、県の職員の給与はこの4年で上がっている。必要なところにお金を使うべき。  
 ・保育に子どもに使われるべきお金を紹介会社に使わなければならない現状は、問題ではないか。  
 ・地域間の格差の是正や保育士の確保が急務だと感じた。  
 (予対部)







**きめ細やかな保育**  
 保育活動を伺って印象的だったのは、そのチャレンジシッブでした。わらしべ保育園の手法を踏襲すれば比較的楽だったのでしょうが、地域性や入所児童の生育過程を考慮し、それらを

スが有効に活用されていることに感心しつつ気付いたのは、どの部屋からも園庭が一望できるように置いている事でした。これにより職員はどこにいても子どもたちの活動状況を認知することができず。やはり安全配慮は人の目が一番効果的なのでしょう。

恵まれた地域資源も保育に活用しているそうです。例えば園に隣接してシイタケの直売所があるので、子ども達に見学させて頂いたり、行事の懸賞としてキノ

活かした行事や手法を工夫し、それを年々発展させて行くという事でした。特に、運動会では子ども達に過度の競争意識を持たせることを懸念して、ファミリーデイという親子参加の楽しみ会にしています。そこでは、親子だけでなく職員も一緒に楽しめるようなスタンプリーやミニ運動会等を企画しているそうです。



コ特りをさせて頂くそうです。菌床もカブトムシやクワガタの飼育にはうってつけなので、園で飼育に利用されています。これはシイタケ嫌いの子どもも減るという副次効果が期待できそうです。また、園正面には病院兼介護老人保健施設があり、各種行事に参加することにより、お年寄りとの世代間交流を深めているそうです。



**まとめ**  
 このようにわらしべ第二保育園では、子どもの健康的な心身を育て、意欲と想像力を培うという基本方針に則り、常に子どもの成長に適した最善の環境整備を日々模索し続けているとのこと。特に、いつも念頭にあるのは「人と人との助け合い」という「わらしべの理念」であるそうです。目標に向けて頑張ってもらいたいというエールを送り、施設見学のお礼に代えさせていただきます。ありがとうございます。(広報部)

# 施設訪問くんじちは



訪問先(さいたま市) 社会福祉法人いなほ会 わらしべ第二保育園 園長 船崎澄子先生

**工夫された環境**  
 平成29年に開設されたわらしべ第二保育園は、さいたま市役所のほど近くに位置しているにも関わらず、都会の喧騒とは無縁な静かな環境の中で保育が行われています。

園正面に立ち先ず目に入るのが、わくわく広場と名

付けられた散策コースの様な広場と大型アスレチックを備えた園庭です。わくわく広場にはみかん、ブドウ、柿、ユズ等が実をつけ、畑にはサツマイモや白菜が育っています。都市部に在る環境を整備できたことも驚きですが、何よりも自分たちで育て、収穫した野菜や果実の味は、子どもたちにとって素晴らしい食育となることでしょう。



**明るい木調室内**  
 ホールを通り園舎内に入ると、内装の多くに木が使用され、木調を大事にしていることが分かります。また、保育室の天井を高くして開放的な環境となるように、至るところに窓を配置し室内を明るくするように設計されています。子どもたちは木の温もりに包まれた穏やかな明るい環境の中で生活を楽しくしていることでしょう。



て制作されています。布テープ等で補強され丈夫で軽く、表面は柔らかく、乳幼児にマッチした安全な素材だったことに驚きを覚えました。よく見てみると開閉できるドアもパック素材で作られ、パック素材にしたバスの玩具があり、手作り感あふれる調度が揃えられていて、子どもたちはそのような部屋で楽しそうに遊んでいました。

3歳以上児の保育室は可動式パーテーションで区切られ、普段は各部屋で活動して大きなホールとしても使用するそうです。スペー